

「Kur-& Thermen Region Innviertel (北部オーストリアのイン川流域 - 温泉・健康地域)」

株式会社 都市構造研究センター/南部 繁樹

共通の地域資源を新しい産業に

イン川流域は、ドイツ南東のパッサウ市からオーストリアのザルツブルグ市の間、北部オーストリア地域に位置する。この地域は、ヨーロッパ保護区域である Unterer Inn と Sauwald の非常にロマンチックな自然地域に囲まれた魅力的な景観を有していたものの、地域産業は農業に特化していた。しかし1980年代後半から、より治癒力のある硫黄温泉を持っていることから、中央ヨーロッパにおいて「健康・観光施設」の分野における投資の有望地域として認知され始めた。そこで、これまで全く観光的取組みを行っていなかったこの地域で、「住む人々にプラスとなり、新しい生活スタイルを学び、挑戦する」地域開発の取組みが開始された。

Innviertel の設立

1992年「Altheim, Aspach, Geinberg, Obenberg」の4つの自治体は「Kur- & Thermenregion Innviertel」(保養・温泉地域 イン川流域連合)を設立した。各自治体は2~5千人の小さな町であったことから、1つひとつの町の枠を越え、より効果的な経済投資と、互いに持つ町の特性を協力して発信しようとする大同団結をしたのである。そこには「雇用対策と収入の増加」が期待された。4自治体では、その後、より効果的な地域開発 (Regional Marketing) を推進させることから、周辺自治体への参画を呼びかけ、2000年には10の自治体が新たに参加し、2001年5月現在、14自治体で構成されている。

Innviertel の運営は、各自治体の首長によって構成される委員会を中心に、マネージャーのハンス・クリスチャン・フェリンガー氏を含めた3人(1人は旅行会社の社員)の事務局が当たっている。年間の事務運営経費は350万ATS(約3,000万円)、負担は、各自治体の観光税による。

Innviertel の活動

活動のスタンスをフェリンガー氏は「地元中心、地元のイニシアティブで行動してもらうこと」と話す。具体的には、

1. 地元自治体にある地域資源(自然、文化、芸術等)の一体的なPR(広報誌の発行 地元のデザイナーに委託)
2. 他都市の見本市での広報
3. 地域のマーケティング
4. 各自治体事業のサポート
5. 個別の収容に効果のある民間施設(レストラン等)建設等のサポート

また、このような活動の成果として、地元住民の自らの発想でユニークな事業展開も生まれてきている。

1. 農家のワラと温泉を組み合わせた「ワラ・サウナ」の建設。ワラを活用した「かかしづくり(2,500体)」を行い、2000年10月には、地域パーティまで行っている。
2. 「はちみつレストラン」の展開。観光振興から郷土料理の必要性を認識したレストラン店主がはちみつのコース料理を発案。さらには、農家に対する料理講習会も行っている。

各自治体のプロジェクト - 温泉活用施設建設

現在計画中の代表的プロジェクトは以下のものである。

1. Aspach Spa Village

温泉を活用したスパ・ビレッジを建設する計画。コンセプトは「Nature Integration, Cosmic, Hollisic」で、アジア、特に日本の「ゆ」そして「自然と施設空間の間」を取り入れた全体計画を目指しているのが特徴である。施設は、ホテル(3,600 m²/240 ベッド)、レストラン、会議コンベンション(670 m²)、レジャー・スポーツ(900 m²)、スパ・セラピーセンター(2,300 m²)等の延床約 10,000 m²。総事業費は 25,400 万 ATS(約 22 億円)。財源は EU ファンド 10%、銀行借入 65%(20 年返済、2 年据置)、自己資金 15%。

2. Obernberg Best Zeit Center

1993 年に 90 の婦人病や関節炎にも効果のあるお湯が出たことから、約 10ha の敷地に予防医学へのニーズに対応した治療型温泉施設を建設する計画。施設は、ホテル(約 6,000 m²)、浴室(1,500 m²)、サウナ(1,200 m²)等、延床約 13,000 m²。総事業費は 36,407 万 ATS(約 31 億円)。

3. Altheim Inn Park

約 3.8ha の敷地にホテル(4,100 m²、88 ベッド)、レストラン(150 席)、ビストロ(70 席)、テルメ(3,400 m²)、クラブ(1,900 m²)等、延床約 11,000 m²の施設を建設する計画。総事業費 31,400 万 ATS(約 27 億円)。

Innviertel への期待と到達点

オーストリアには「チロル」という一大観光地があり、また近接してドイツの有名な温泉地バッドフィッシングがあるが、「小さい所でも、既存の大きな所以上の効果を上げるために各自治体が結集した」と Obernberg の町長は語ってくれた。

Innviertel の目指すものは、「美しく、見ていて飽きない、癒される場所」また「各自治体が他を羨ましがらず、同じ教会の塔を作るのではなく、歴史・文化に基づいた個性ある開発をすることである」という。

そして来街者に「町に行く」と言われずに「Innviertel に行く」と言われるようになり、「ヨーロッパの温泉地」になることが目標と言い切る町長の言葉に今後の成果を期待したい。